

【報告】徳地文化ホール内地域交流スペースの活用について

徳地地域複合型拠点施設整備に伴い、徳地文化ホールエントランスに『地域交流スペース』が新設される予定です。

徳地地域づくり協議会では、若い人も含めた検討会を立ち上げ、座談会で提案を集め協議をしました。

「憩いの場として気軽に食事ができる喫茶・飲食施設(地域要望)」「官民連携事業」「情報の収集発信」「高齢者・子ども・お母さんがちょっと寄れる場所」「絆づくりイベント」「地域資源展示」など、提案は多岐にわたりました。



10/3 開催の座談会では、公募での参加者を含む26名の方に語り合っていました。

人や情報が行き交うサロン (食堂や販売所ではありません)



地域要望や検討会・座談会での提案について、現在の掘の様子や使用条件なども考慮に入れ検討し、方向性を上記のように決定しました。

今回の検討会や座談会では、若い方の参加も多く、若い人目線での徳地への思いも聞くことができました。このような対話を軸に今後は運営チームを作って活動していくことになります。

ご興味のある方は事務局まで是非ご連絡ください!



10/17(土) 令和2年度 やまぐち車座トーク 21

新型コロナウイルス感染症への対応から、今年度は徳地地域づくり協議会会長・副会長・部会長の出席で開催しました。



「地域の未来・拠点づくり」「学生のバス定期代」「島地川河川整備」「自主防災組織・避難所」「徳地老人福祉センター」「地域医療」「重源の郷」について質問等を行い、市長や関係部局長と意見を交わしました。また地域のトピックスとして、八坂地区で実施している「八坂元気プロジェクト」を紹介しました。

徳地の交通を考えるプロジェクト

徳地地域づくり協議会では、地域住民が『徳地で安心して暮らしていくための足をつくる』ことを目的とし『徳地の交通を考えるプロジェクト』を進めています。

昨年度、聞き取りさせていただいた情報や思いを市や交通事業者へ伝え、地域も含めた3者で協議をしています。

新聞等で見られたこともあるかと思いますが、運転手不足や高齢化で公共交通サービスの持続は全国各地でも課題となっています。令和4年度の複合型拠点施設供用開始には徳地らしい交通再編ができるよう、根気強く知恵の出しあいを行っています。



丁寧にペンキ塗り 色にもこだわります！

「バスを利用する高齢者の方にくつろいで欲しい」

更に今年度は「地域課題の解決に取り組みたい」と防府高校佐波分校が交通プロジェクトに参加。生徒の思いからベンチ製作のアイデアが生まれました。

居心地良さを追求し、幅や奥行き、背もたれの角度にもこだわったベンチ。徳地和紙作品や草木染め座布団と共に佐波分校文化祭でお披露目のあと、防長交通堀駐在に寄贈しました。バスの乗降場には徳地5地区を写真で紹介する看板の設置もしました。利用者に好評のようです。



ベンチ&和紙作品&草木染座布団
待合室が明るくなりました！



防長交通堀駐在待合室の作業では、堀駐在の次長さんもお手伝いされました！

